

子や孫を戦場に送らせない

日本共産党議員団 宣伝・署名で訴え



9000人が声あげる

国会で審議されている「戦争法案」。各種の世論調査でも反対が多数を占めています。国会での参考人質疑では、自民党が推薦した憲法学者も「憲法違反」だと指摘しています。

まもなく戦後70年。この

間、日本の自衛隊が外国の戦争にまきこまれなかったのは憲法9条があるからです。

安倍内閣は憲法を無視して、アメリカが起す戦争に、日本の若者を送り込もうとしています。「他国

の人を殺し、日本の若者が殺される」とになりまなになん

でも「戦争法案」をストップさせようと、共同行動が広がっています。

野中広務、古賀誠、河野洋平氏など、自民党の幹部だった人たちからも反対の声が上がっています。

6月21日には、神戸市でも兵庫県弁護士会主催で集会が開かれ、9000人が参加。集会後のパレードでは、沿道からも賛同する声があがりました。



9000人が集まった県集會に日本共産党神戸市会議員団も12人の議員全員が参加しました（左端は、きだ結県会議員）

絶対、廃案に

神戸市には、非核「神戸方式」があります。一九七五年に市議会で決議されたのを受けて、神戸港に入港する外国の軍艦等に「核兵器を積んでいない」という証明書の提出を求めています。

この施策が始まってから、アメリカ軍の艦艇は一隻も神戸港に入港していません。

日本共産党神戸市会議員団は、非核の港をもつ神戸から「戦争法案許さない」との声をひろげようと、街頭での訴え、署名行動にとりこんでいます。

戦争法案3つの大問題

- ①「戦地」まで行って軍事支援
「必ず戦死者が出ます」
- ②戦乱が続く地域で治安活動
「アフガンでは3,500人が戦死しています」
- ③集团的自衛権で武力行使
「先制攻撃の戦争にも参加」